

社会福祉法人 晴山会

障害福祉サービス事業所 (多機能型)

すみだ晴山苑

生活介護事業 クルン / 放課後等デイサービス事業 キララ

おかげさまで当苑は開設六年目を迎えることができました。これまで支えていただいたご利用者様・ご家族・地域の皆様に、改めて感謝申し上げます。

今号から「すみだ便り」をマイナーチェンジしお届けいたします。各事業からのお知らせや、各専門職からの情報提供を掲載させていただきます。また、委員会（虐待防止・リスク管理委員会、環境整備委員会、研修委員会）からの報告も定期に載せていく予定です。これまで、ご家族の皆様より「苑から情報提供がもっと欲しい」とのご意見や、先般実施した福祉サービス第三者評価の中でも、広報誌の内容検討について打診されています。苑の活動状況や支援・ケアの方針などを分かり易く、適切に伝達していくことを目的としています。

ご高覧いただき、皆様からご意見・ご感想をいただければ幸いです。 施設長 三須 正

《新入苑者歓迎会》



《園芸》



《バスドライブ》



《音楽療法》





《卒業イベント》

キララ・クルンご利用者の皆様へ

桜の花びらが舞い、暖かな風が心地よく感じられるようになった今日、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、2023年3月31日をもって、私 田中萌は看護学校へ進学のため、すみだ晴山苑を退職することとなりました。

すみだ晴山苑が設立してから5年、皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

至らない点ばかりで皆様に助けていただくことが多く、本当に感謝しております。

これまで保育士として療育の現場で7年間働いて参りました。すみだ晴山苑に異動し、医療的ケアを要する方々と関わる中で、「医療的ケアができる保育士になりたい」という考えがだんだんと大きくなっていました。

支援員でも医療的ケアを行うことができる研修を受けに行ったのですが、やはり命を預かる立場になると、それだけでは技術や知識など不十分な点が多く、それならばと看護師を目指すことにしました。

卒業後療育の現場でしっかりと技術や知識をつけた後、福祉・療育の現場に携わりたいと考えています。その際にまたお会い出来たら嬉しいです。

すみだ晴山苑で皆様と出会い、たくさん話しをしたり、遊んだり、お出かけをしたりと本当に楽しかったです。

これからのご成長や今後のご様子を拝見することができないことが1番の心残りです。あーさびしい。

またその内ひょっこり遊びに伺いたいと思っています。街中で見かけたら声をかけてくださると嬉しいです。本当にありがとうございました。

今後も皆様の益々のご健康とご活躍を願っております。大好きです!(*ω*)

私事ではございますが、1月に入籍いたしました(*▽*)



すみだ晴山苑キララ
保育士 水上 萌 (旧姓: 田中)

苦情相談の受け付けに窓口ついて

令和5年4月1日より、第三者委員1名が下記委員に変更となります。

第三者委員 石崎 俊一 氏 ※苑あてご連絡ください。
谷 眞宏 氏 (新任) お取次ぎいたします。

苦情受付担当者 鹿間 久美 ・ 中村 俊哉 ※変更なし

苦情対応機関 墨田区福祉保健部障害者福祉課 5655-2940

広域専門機関 福祉サービス運営適正化委員会 5283-7020

発行/社会福祉法人晴山会
障害福祉サービス事業所
すみだ晴山苑

(所在地)
墨田区八広 5-18-30
☎03-6657-3417

2023年4月12日

【各種委員会より】

1、環境整備委員会より（委員長：藤木看護師）

目的：①利用者が安全・快適に過ごせるように周辺環境を整える。

②職員が効率よく働きやすい環境を整える。

③防災訓練を通し非常時対応を確認する。

昨年度は、9月19日にスライドショーでの地震想定避難訓練、2月23日に火災想定避難訓練、2月28日職員対象で水害想定訓練を実施しています。また、苑内の環境整備（全館消毒内容の検討・クッション類の追加やチェックなど）をしています。

今年度は7～8月に水害訓練、10月～11月地震＋火災総合訓練、2月に火災もしくは地震想定訓練を行い、環境を整えてご利用様が安全に過ごせるようにしていきたいと思っています。



2、虐待防止・リスク管理委員会より（委員長：広瀬生活支援員）

目的：①虐待に繋がりにくい支援、ケアを早期に発見し防止する事により、利用者様の尊厳を守る。

②身体拘束の適正化について周知

昨年度も例年実施している虐待防止セルフチェックリストを実施した。併せて、これまでのヒヤリハット・インシデントのリスト化、予測できるヒヤリハットのアンケートなどを実施した。この成果として、個々では気付かない事などを職員間で周知し、各々が気をつけるようになってきている。

しかし、完璧な訳ではなく新たな事例も出てくると思われる。

今年度もセルフチェックを実施し、新たな事例や前回からの違いを提示し周知していく事により、各職員の意識を高めていきたいと思っている。



3、研修委員会より（委員長：高橋（健）保育士）

目的：職員個々のスキルアップを図り、質の高いサービスを提供する。

令和5年度目標：①研修の機会を充実させ、周知を広め委員会の機能を強化する。

②伝達講習を増やし知識や技術の共有を広める。

前年度は10月に放課後デイ保育士・作業療法士がそれぞれ受講した「感覚統合」の研修の伝達講習を合同で行いました。

1月には応急手当普及員の資格を持つ職員による救急救命講習、2月には向島警察署の方より防犯訓練を行いました。防犯訓練では警察官が不審者役となり「さすまた」の使い方など実践形式で教わりました。

来年度は前年度に行った研修に加え、感染予防の再研修を苑内で行い感染対策に努めていきます。

《アコーディオン演奏》



《節分》



【各担当より】

1、クルンより（主任：鹿間）

昨年度は、他事業所と連絡帳を通して情報交換が開始でき支援の充実へと役立てることができました。また、学生対象に「実習のしおり」を作成し、実習内容やクルンの活動について利用開始時に必要となる書類等をご案内しました。誕生日会ではパステル画家に似顔絵を描いてもらいました。「いちにち動物園」

「くるくるマルシェ」を開催し地域の方々との交流を深めました。今年度は、定期的にプロの音楽・パフォーマンスを年3回行います。施設交流として飛鳥晴山苑を訪問します。今年度のすみだ秋祭りは第1部、第2部と2日間の開催となります。コロナ感染対策前の活動に戻していきますので、社会参加活動、地域交流にご協力ご参加お待ちしております。



2、キララより（主任：中村）

キララでは昨年度毎月平均175名の利用希望があり、平均で92名の受け入れとなりました。児童に待っていたく時間を極力無くすことと、マンツーマンの支援を基本と考えておりますので、定員一杯まで受け入れが出来ていない状況があります。キララの雰囲気を変えないよう、なるべくご希望に添えるように利用調整を行ってまいりますのでご理解のほどお願いいたします。

また、現在キララには利用をお待ちいただいている児童の方が複数名いらっしゃいます。直ぐにでもお受けしたい所ではありますが、現状安定したご案内が難しい状況です。なるべく早期にお受けできるよう考えていきます。

お気づきの点がございましたら、お気軽にスタッフまでお申しつけください。

令和5年度も宜しくお願い致します。



3、看護より（主任：小林）



コロナの渦中…それでも、日常が少しずつ戻ってきています。

苑での活動も復活予定です。まだまだ安心できませんが、感染対策を継続しつつ対応していきたいと思えます。

又、安全に利用できるよう医師を含め関係各所、苑内でも生活支援員やリハビリ・看護間でも情報交換・情報共有を継続しますので、少しでも発熱を含む体調変化のある場合は連絡いただけるよう…ご協力をお願いします。



4、リハビリより（伊藤）

すみだ晴山苑の機能訓練は理学療法士と作業療法士が担当しています。理学療法士（PT）は呼吸機能訓練や摂食・嚥下機能訓練を含めた身体機能の訓練、作業療法士（OT）は脳機能と視覚、手作業を通じた感覚統合（通称感覚遊び）を主に担当しています。すみだ晴山苑のPT、OTは両者ともポバースコンセプトという、体幹機能と四肢の運動・姿勢制御法を学んだバックグラウンドを持ちますので、単なる関節の拘縮予防にとどまらず、PT、OTが共通した目的を持ち、利用者様それぞれの動きを引き出す手法を用いて機能訓練を実施しております。当苑ご利用開始からの時間の経過と共に、利用者様それぞれの身体機能に変化を認めておりますので、腰痛や肩痛、膝痛などのいわゆる二次障害に配慮し、来苑毎にPT、OT評価を行いつつ当日のコンディションに応じた機能訓練を実施しております。痛みの訴えがある場合には生活支援員・看護師と情報共有を行い、その日の介助方法やポジショニングを適宜調整しております。安全性に配慮して身体機能を引き出しながら、楽しく過ごしていただけるよう努めてまいります。

